

# こから

## 第108号

2024年11月  
9月定例会

### 議会だより



目次	
中学生議会 ……………	2.3
VOICE (町民の声) ……	14
決算をチェック ………	4

# 中学生議員が 身近な問題について行政に質問!!

## 第17回 中学生議会

7月11日、中学生議会が開催され、選出された中学生議員が橋本選管委員長から当選証書を付与された。



あきやま じゅう 議長  
秋山 丈 議長



ふくほら ゆうせい 書記  
福原 佑聖 書記



やまだ ゆうと 議員  
山田 悠人 議員

町のいろいろな取り組みには、税金が使われていると聞きました。甲良町民はどのような税金を納めているのでしょうか。納められた税金は、どのようなことに使われているのでしょうか。



ふくほら あゆみ 議員  
福原 彩夢 議員

ふるさと納税の返礼品として準備してあるものはどのようなものでしょうか。ふるさと納税で集まったお金は、何に使われているのでしょうか。



むらぎし かいと 議員  
村岸 快音 議員

町内の避難所はどれだけの人が避難することを想定されているのでしょうか。また、避難所にある物資には、どのようなものがあるのでしょうか。



きたがわ かずま 議員  
北川 和真 議員

空き家を利用して、民泊を行ったり、他地域からの移住者に住んでもらったりするなど、町として空き家を活用するお考えはあるのでしょうか。



みやがわ ひなた 議員  
宮川 陽那夕 議員

町民同士の絆を深めたり、楽しみとなったりするイベントが町内であると思うのですが、甲良町全体で行っているイベントはあるのでしょうか。



かわかみ りお 議員  
川上 湮央 議員

放課後や休みの日など、友だちと遊ぶのに町内にある公園をよく利用しているのですが、公園の掃除は誰がしてくれているのでしょうか。



やまだ せお 議員  
**山田 聖央 議員**

毎日、生活する中で、ごみのポイ捨てが気になっています。町として、どう思っておられますか。また、ポイ捨てをする人への具体的な対処策はあるのでしょうか。



なかむら おうか 議員  
**中村 凰珂 議員**

全国的に少子高齢化が進んでいますが、甲良町では、その対策として具体的にどのようなことをされているのでしょうか。人口減少対策として、他の町との合併などは考えていないのでしょうか。



いけだ るきら 議員  
**池田 琉煌 議員**

甲良町は自然豊かだと思います。その自然を楽しめるような公園を作るのはどうでしょうか。併せて、雑木林や生き物などの甲良町の自然について学べる場があるといいと思います。



ほこやま なおゆき 議員  
**鋒山 挺将 議員**

町内には他の地域に比べて、商業施設が少ないと思います。飲食店やコンビニエンスストアが増えると、町外の人も来てくれると思うのですが、町としてはどのようにお考えでしょうか。



かわなみ とわ 議員  
**川並 永和 議員**

町内には甲良中学校以外の中学校に進学する人もおり、中学卒業後の進路も人によって様々です。そこで、町内の学生同士の交流を図るために図書館で勉強会を開いてもらえないでしょうか。



おかばやし ひさと 議員  
**岡林 彩翔 議員**

町政について、お伺いします。私たち町民の声は町政に届いているのでしょうか。また、どのような形で町民の声が届いているのでしょうか。



地域愛や思いやりにあふれる素晴らしい内容の質問がたくさんあり、堂々と自分たちの考えや思いを伝えている姿が見られました。



# 決算をチェック

9月  
定例会

令和6年9月定例会が、9月5日から9月24日までの会期で開催された。

令和5年度の決算は、予算・決算常任委員会に付託され、審査が行われた。

○委員会開催日 令和6年9月10日、11日(2日間) ○委員長 西川 誠一 ○副委員長 木村 誠治

## 予算・決算常任委員会 Q&A

**Q** 税収の安定的な確保は重要だが、収入未済についての考えや、どこに力点を置いて財政運営を行うのか。

**A** 収入における町税の依存率は3割だが、安定的な収入としてそれをきっちり押さえていくことと、適切な規模での歳出を行うことの2点である。

**Q** 住宅費の住宅新築資金等貸付事業費の弁護士業務委託327万円について、今までのやり方を継続していくのか。

**A** 個々のケースがあり、早期解決をしていきたいが、次の代に移ると相続放棄なども発生していくことから、連帯保証人で払う意思のある場合は、その割合で和解を進めていきたい。

### (意見等)

戸籍住民基本台帳費のマイナンバーカード普及促進事業356万円について、返還の数と利用者数とはの問いに、返還はないが、保険証の利用率は、令和6年度で、国保が8.86%で、後期高齢が5.6%であるとのことであった。国の事業で各市町が負担を担っているが、わかりやすく町民に説明をするようにとの意見があった。

また、健康診査を受けてもらうために、今健康に留意するとお金やかけがえのない時間等が、お得になるというようなセミナーや広報などアプローチの仕方を変えてみてはとの意見があった。

## 主な歳出事業

### 燃油価格高騰対策支援事業

燃料購入券(10,000円分/世帯、子育て世帯には追加5,000円分)を町内世帯に配布



2,917万円

### 価格高騰対策支援給付金交付事業

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい世帯へプッシュ型給付(30,000円/世帯)



7,626万円

### せせらぎの里管理事業

せせらぎの里のPOS(販売時点情報管理)レジ更新により業務効率化、売上/在庫管理の精度向上



1,126万円

### 除雪委託

降雪量増加への対応(前年比42.4%増額)  
・交通の確保、経済活動の維持・生活の安全、防災対策・地域コミュニティの活性化



3,206万円

# 決算審査指摘事項

- 実施期間 8月5日、6日、9日
- 代表監査委員 上野 安德
- 議選監査委員 木村 修

## 審査意見

- ①歳入決算における自主財源構成比は、一般会計ベースによると29.2%と前年度(27.8%)に比べて1.4ポイント高くなったが、同級他団体に比べ低い状態が続いており、今後は更に税や使用料を確実に徴収すると共に、納付督促や納付意識の向上等に努め、収入確保に最大限の努力をされたい。
- ②令和4年4月に過疎指定がされ、「過疎地域持続的発展計画」の策定に伴い、令和5年度においては、合計1億370万円の過疎対策事業債の発行がされた。起債償還のバランスを考慮しつつ、今後もしっかり見極め、活用されたい。また、生活に身近な分野の重点施策を選定し、限られた財源の重点的・効率的な配分や不要な事業見直し等による歳出削減に職員が一丸となって取り組まれたい。
- ③令和9年度には国民健康保険料(税)が統一され、県民すべてが同じ保険料の算定になる予定だが、本町は現在の保険料から比較すると負担増となる。統一方式に向け、国への公費負担の充実の要望や国保運営基金の確保が必要となるので、万全に望んでいただきたい。また、引き続き確実な滞納整理を推進されたい。

## 令和5年度 各会計別歳入歳出決算状況

(単位：万円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	41億3,056	39億4,608	1億8,448
国民健康保険特別会計	9億3,273	9億1,807	1,466
墓地公園事業特別会計	102	23	79
介護保険事業特別会計	10億416	9億7,580	2,836
後期高齢者医療事業特別会計	9,071	8,867	204
水道事業会計	1億8,409	1億6,056	2,353
下水道事業会計	3億3,698	3億1,247	2,451

※決算額は、千円の位を四捨五入して計上しています。

## 審議結果

賛 否	議 員 名									議長	結果
	福原	木村誠	藤居	山田	小森	西川	野瀬	木村修	西澤		
一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	認定
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	
墓地公園事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	
後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	
水道事業会計歳入歳出決算並びに事業報告の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
下水道事業会計歳入歳出決算並びに事業報告の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

報 告

専決処分報告について（損害賠償の額を定めることについて）
財政健全化判断比率の報告について
水道事業会計資金不足比率の報告について
下水道事業会計資金不足比率の報告について

全 員 賛 成

税条例の一部を改正する条例	
手数料徴収条例の一部を改正する条例	
一般会計補正予算（第3号）	
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
墓地公園事業特別会計補正予算（第1号）	
介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	
後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	
水道事業会計補正予算（第1号）	
下水道事業会計補正予算（第1号）	
和解につき、議決を求めることについて	
教育委員会教育長の任命につき、同意を求めることについて	青山 繁氏（豊郷町）再任
教育委員会委員の任命につき、同意を求めることについて	藤 真照氏（在士）、小島 つや子氏（在士）
高等教育の無償化等に関する意見書（案）	
教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書（案）	

賛否がわかれたもの

	議 員 名									議長	結果
	福原	木村誠	藤居	山田	小森	西川	野瀬	木村修	西澤		
国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	●	-	可決

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

## 高等教育の無償化等に関する意見書

- 1、授業料無償化を目指し、直ちに国の助成で  
国公立全全ての授業料（大学・短大・専門学校）を半額にすること。
- 2、大学・短大・専門学校の入学金をなくすために、国は必要な措置を取ること。
- 3、本格的な給付奨学金制度をつくること。
- 4、国が拠出して、貸与奨学金の返済を半額免除すること。

## 教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書

- 1、学校の業務量に見合った教職員配置をすること
- 2、勤務時間の管理と時間外勤務を規制するために、教員にも時間外手当を支給すること
- 3、これらを実現すべく教育予算を増額すること

一 般  
質 問

# 町政のここが知りたい! 聞きたい!

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長などに方針を問うものです。

ページ	質問事項	質問議員
8	◎中学校社会[歴史的分野]の教科書採択について	きむら せいじ 木村 誠治
9	◎町内児童、生徒の学力について ・通園バス置き去り防止対策について ◎個別避難計画について ・産業集積地の活用について	のせ よしひろ 野瀬 欣廣
10	・町民の健康増進のために汚染物質除去を ◎高齢者、障がい者等の安全な移動のために ◎尼子駅周辺の住宅地確保事業について ・学校体育館の熱中症対策について ・南海トラフ地震への備えを問う	にしざわ のがあき 西澤 伸明
11	◎6月議会で質問した身体障害者手帳4級保持者の医療費負担の廃止について ◎議会での議員質問に対する検討事項や協議事項の進捗管理等について	ふくはら まちる 福原 守
12	・住民サービスについて ◎ハラスメントについて ◎障害者差別解消法の推進について	やまだ みつよし 山田 光義
13	◎地域防災について ・農業施策について ・県と市町の連携による産業用地開発事業について	ふじい きちや 藤居 吉也



◎印の質問を掲載しています。



木村 誠治 議員

# 問 中学校社会教科書 一般質問 採択の仕組みは

## 答 教科用図書採択協議会の 選定結果に基づく



**問** 中学校社会「歴史的分野」の教科書は、2013年から2024年までの12年間、東京書籍の採択が継続していた。中学校の教科書はどのような方法で、誰が、どういった理由で採択されているのか。

**答** 教科書の採択は市町教育委員会が行い、県内の採択地区ごとに協議会を設置する必要が

ある。本町は、彦根市・多賀町・豊郷町・愛荘町で第4地区教科用図書採択協議会を設置。教育委員会は、この協議会の選定結果に基づき、本会議で教科書の採択を審議する。これは社会科の教科書のみならず全ての教科書が対象で、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づく手続きである。

# 問 採択に際しての評価観点は 大きく3〜4つの観点から評価

**問** 採択に際しての評価観点と採択に至った理由は、

子どもたちの健全な自我形成のための歴史教育という観点、生徒たちが自己肯定感を高められるという観点は重要だと思うが、どうか。

**答** 評価観点は、①「知識及び技能について」、②「思考力、判断力、表現力等について」、③「学びに向かう力、人間性等」の3つに分けられ、子どもにとっての使いやすいという観点からも評価している。歴史的教育という観点からというよりも教科横断的に、また教育活動全体を通して子どもたちの健全な自我形成や自己肯定感を高めていくよう取り組んでいる。

る。第4地区教科用図書採択協議会の議事録が彦根市教育委員会のホームページで公開されている。







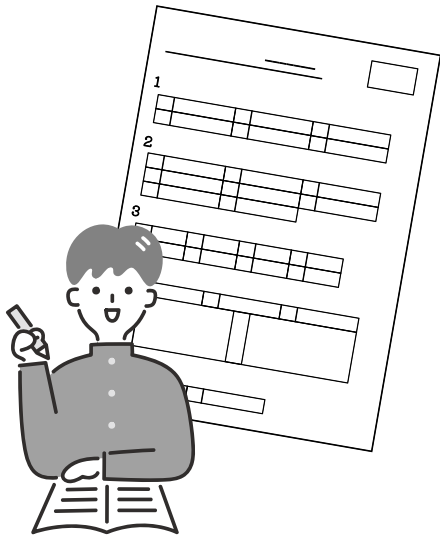
野瀬 欣廣 議員

# 問 町内児童・生徒の 一般質問 学力は

答 滋賀県の平均を下回っているが、  
学力向上に向けての事業を進めている

**問** 小学6年生と中学3年生の学力試験が実施され、滋賀県は全科目全国平均を下回っていたとの報道があったが、町内の結果はどうだったか。

**答** 全国学力学習状況調査の結果は、小学校は県平均を下回りその差が広がった。中学校も県平均を下回っていたが、



その差は縮まる結果となった。特に記述式の問題の回答率が低く、課題と考えている。

株式会社トライググループに委託し、4歳・5歳・小学校1年の子供とその保護者を対象に、学力向上事業を開始した。知育教材を活用した学習指導を実施して、学ぶことの楽しさや充実感を実感できるような内容となっている。

中学校では道徳の授業を実施し、命や仲間、自立、社会生活での規範意識の学習を行っている。

# 問 個別避難計画の策定は

答 まだ完成していないので、

専門職などと連携して進める

**問** 最近地震の頻度が多くなったように感じる。こういう状況の中で、高齢者など支援の必要な方の避難のあり方について、国は災害の際に自力で避難が難しい人について、福祉医療関係者とともに個別避難計画を立てるよう求めている。本町の計画の進捗状況は。

また、重度の障害のある方等の支援については、専門職との連携、専門車両、ヘルパーの手配なども重要な課題である。専門職と十分調整、協力を得ながら進めていきたい。

**答** 避難行動支援者の台帳について、申し出の方は、できている。毎年更新を行っているが、具体的に誰が支援するのか、どこに避難するのか、どのような配慮が必要なのか、避難行動をどのように取ればよいのかという具体的計画については、まだ作成できていない。





西澤 伸明 議員

# 一般質問 問 シニアカーなど、安全走行のため講習会を

答 関係機関と連携し検討したい

**問** 高齢者等電動車椅子の公道走行における安全確保のため、ぜひ講習会を開いてほしいとの要望を聞いた。関係機関と連携して実施してはどうかと思っている。方向指示器が出ていなかったり、真ん中を走っていたり、危ない様子を見ることがある。ぜひ検討を。

**答** 特にシニアカーについては高齢者や長距離の歩行が困難な方が多く使用されている現状である。老人クラブの会長や彦根署、交通安全協会とも情報を共有しており、民間企業でも講習があると彦根署からも聞いている。老人クラブの協力も得て、高齢者への交通安全講習も含め、調整をしていきたい。



**問** 造成販売までを町が手掛け、安い値段で売ろうとすると、いろいろな点で工夫が必要となる。

また、町が投入する費用は、大変膨大になると思う。起債を張るにしろ、町財政の負担は他の施策を圧迫せざるを得ないと考える。どのぐらいの財政規模になるのか。

宅地の需要予測や事業の賛否のため、町民アンケートを実施する必要があると思うが。

**答** 現在、事業費などを様々なパターンで想定しながら算定しているところなので、確定的なものはない。用地買収をどの程度の金額でできるのか、低く抑えれば抑え

# 問 尼子駅周辺宅造事業は膨大な費用、住民の意向調査が必要では

答 いま概算費用提示は難しい

一定の需要はあると考える

られるほど当然、事業展開が有利にできる。しかし、地元交渉が難航すれば、用地買収費が上がり、事業費も当然かさむ。そのような算定が今後必要になってくるので、今、事業費を示すのは難しいと思う。いずれにしろ、具体的な金額は一定算定しながら

シミュレーションは組んでいるが、今後、県と協議する中で実現性を図りながら、一定の時期には議会にも示せればと思う。

アンケートの件は、意見としてうかがっておく。転出状況なども踏まえ一定のニーズは存在していると考えている。





福原 守 議員

## 一般質問

### 問 障害者4級保持者 医療費負担廃止のその後は

答 ネットワークを広げ  
情報収集と発信等を継続していく



**問** 6月議会で質問した、身体障害者手帳4級保持者の医療費負担の廃止について、その後は、近隣市町への聞き取りや復活するかどうかの協議等を行ったのか。

**答** 近隣市町の状況の変化はない。協議をした中で復活は考えていないが、本町の福祉医療全体のネットワークを広げ情報収集と発信等を継続していく。

事業、施策は近隣市

町で決まるものではないと思っっている。その中で近隣の状況を参考にし、事業の必要性、費用対効果、町の施策等の方向によって決まっていって考えている。

### 問 議員質問に対する 進捗管理等は

答 現在、管理は行っていない

**問** 一般質問に対して「協議します。」・「検討します。」という回答を耳にするが、本町では質問内容の管理等は行っているのか。

また、協議や検討内容の結果について、質問者に報告したのか否かの管理等は行っているか。

私たち議員は、町民の代表として質問している。私たちが、その回答を待つように、町民は私たちの回答を待っているので速やかに報告を。

**答** 現在、総務課の手元で記録管理をしているということはない。

メモ等はあるが、記録管理について、今現在できていない。



議会の様子



山田 光義 議員

## 一般質問

# 問 様々な ハラスメントについて

## 答 具体的な防止対策について

### 特に細部まで規定したものはない

**問** 様々なハラスメントをなくすための本町としての具体的な防止対策はあるのか。  
また、ハラスメント  
事例が発生した場合の  
対策はあるのか。

**答** まずは職員間における適度なコミュニケーションと必要と思われる。それとハラスメントについては、職員個人の尊厳、能率の発揮、快適に働くことができる職場環境を損なうものと考えている。許すことなく厳正に対応していく。



副町長をトップにして、ハラスメント防止委員会による対応ということも定めており、研修についても適宜開催している。職員が十分に能力を発揮出来るように、よりよい職場環境づくりに努めていきたい。研修の内容やミーティングのありかたというところで、しっかりと職員間の意思疎通を図っていく。

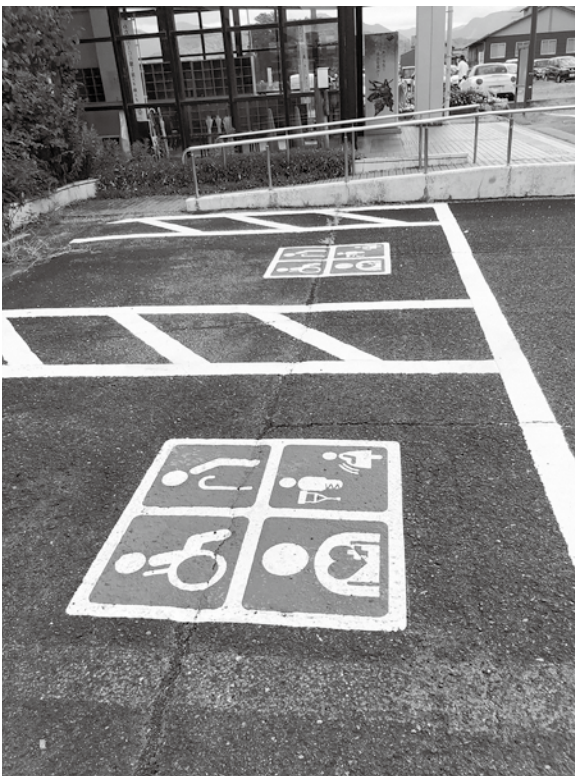
## 問 障害者差別解消法の推進は

### 答 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領」により対応

**問** 2016年4月1日  
日から障害者差別解消法がスタートした。「国及び地方公共団体の責務」がうたわれているが、そのための必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備は各部署においてできているのか。

**答** 3月議会の質問以降、特に変わった所はない。現状を再確認することになっている。  
去年、町公民館において、障害者のスペース、プラス思いやり駐車スペースを設けた。また、バリアフリーのトイレの整備もしている。

窓口対応では声をかけをし、筆談の対応をすることもある。また、点字に関しては、現在、役場の業務に対して、細かい点字の資料等は作っていないが、県が作成している点字資料は置いていく。



役場公民館前

問 水道施設等  
災害予防対策は

答 地震時、震度6強の耐震性能有り



藤居 吉也 議員



上水道正楽寺配水池

問 ライフライン等災害予防対策について、水道施設、特に災害時における飲料水の確保を図るため、応急給水拠点となる配水池や浄水場の耐震化の状況はどうか。

答 耐震化については、平成30年度に、正楽寺配水池、呉竹にある浄水池、ポンプ棟、管理棟について、耐震基準の分析を行ったところレベ

ル2の地震時、震度6強に対応する耐震性能を満たしている。  
正楽寺配水池については、耐震基準の見直しにより正楽寺配水池の山の直下で万が一、レベル2の震度6強が起きた場合、一部破損する可能性があるという結果を得ているため、その補強については、今後検討していこうと考えている。

問 消防車両の耐用年数及び

乗り換えは

答 来年度には、乗り換えの予算化

問 現在、消防車両はタンク車を含めて2両あるが、各車両の耐用年数と乗り換えの予定はいつごろか。

答 いすゞ製の消防ポンプ車と日野製の消防タンク車の2台を保有しており、1つ目のいすゞ製は、平成11年12月に購入で25年経過、日野製については、平成19年9月に購入で、約17年が経過をしている。  
耐用年数については、20年とされている。乗り換えについては、前々から消防団の方とも懸案の事項になっていて、補助金の関係もあり、来年度には予算化をしていきたい。



# VOICE

## 町民の声 Episode.7



### 議会だよりへのご意見

●ご覧になられた感想は

2023年5月発行の第101号よりリニューアルされた議会だよりは、大きく書かれたテーマが目を引き、内容はわかりやすく簡潔にまとめられていて、とても読みやすいと思います。

●興味ある記事は

防災関係と、子育てしやすい環境づくりに興味があります。

●町・町議会への提案

子どもたちの笑顔があふれる町。環境や時代の変化にあわせて、柔軟に進化していく甲良町にしてください。



氏名 こしま 小島 つ 子さん(在士)

令和6年10月1日より、教育委員に就任することになりました。微力ながらこれまでの経験をいかし、また想像力を持って尽力して参ります。今後とも、町民のみなさまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

### 12月定例会の予定

～議会を傍聴してみませんか～

月日	内容
12月3日	全員協議会
5日	開会・一般質問
6日	一般質問(予備日)
10日	委員会(予備日)
13日	閉会

なお、都合により日程が変更になる場合がございます。会期日程、議会会議録などは、ホームページでも公開しています。



### あ と が き

紅葉の季節を迎えましたが、あの9月に発生した各地でのゲリラ豪雨の被害や河川の氾濫による災害が、本当に他人事でないように感じます。自然災害の怖さを痛感します。

さて、この8月、9月に開催された世界のスポーツの祭典、パリオリンピック、パリリンピックをご覧になられた方は沢山おられると思います。あのメダルの多さにはビックリでしたが、パリリンピックでの障害を持つ人のあの頑張りには皆が勇気と感動をもらったと思います。そして、勇気と感動だけでなく、自分自身が障害を持つ人への気配り、心配りを考えていくべきだと思いました。(山田光義)

#### 発行責任者 議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 丸山 恵二 |
| 委員長  | 小森 正彦 |
| 副委員長 | 福原 守  |
| 委員   | 山田 光義 |
|      | 藤居 吉也 |
|      | 木村 誠治 |